



葉山町

議会だより

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111
編集 議会広報特別委員会 発行日 平成21年8月1日

No.

97

第1回臨時会・第2回(6月)定例会

- 正副議長あいさつ、委員会人事…………… 2～4ページ
- 一般質問(12人登壇)…………… 8～13ページ
- 委員会レポート…………… 14～15ページ

第2回定例会6月29日に「葉山町議会基本条例」を制定



第1回 臨時会

第2回 6月 定例会

議会人事が変わりました

平成21年5月22日に第1回臨時会が開かれました。
正副議長選挙の結果、議長に鈴木道子氏、副議長に畑中由喜子氏が選出されました。
また、議会選出葉山町監査委員には伊東圭介議員が選任されました。



議長 鈴木道子

理や財政の論
理を超えた
「人間の論
理」をもって
基盤とすべき
です。
住民に密着
している地方
議会は特に、
一人ひとりを視野に入
れた人間主義に立脚すべき
と考えます。

議長あいさつ

この度、議長の大任を
務めさせていただくこと
になりました。町議会・
町政のさらなる改革に向
け、各議員が、活発かつ
充分な議論をし、町民の
皆さまのご信託にお応え
できるような力を尽くして
まいります。ご指導をど
うぞ宜しくお願い申し上
げます。

今、戦後六十数年が過
ぎました。
少くとも、この間、私
たちに与えられた文治社
会にあって、教養主義の
伝統を受け継ぐことがで
きてきたのか、大いに反
省するところです。
小手先の政争に終始す
ることなく、「政治の探究
には、絶えざる人間研究
と、深い人間性について
の洞察がなければならな
い」ということを、肝に
銘じ、日常煩雑の中に忘
失することが無いよう心
してまいります。

町も少子高齢化、医療・
介護、環境、教育、不況
の影響等々、課題は山積
しております。福祉と安
心安全、そして町全体の
進歩発展のために信条の
決意しております。



副議長 畑中由喜子

昨今の世界的
な金融危機に
よる社会構造
の変化に加え
て、町は今、
ごみや下水道
等の環境問
題、子どもの
居場所づくり
や保育等子育て支援、高
齢者や介護を支える仕組
みづくりなど多くの課題
に直面しています。
私自身は、葉山に生ま
れ育ち、この美しい豊か
な自然環境を子どもたち
やそのまた子どもたちの
世代に、引き継ぎたいと
いう思いから、議員を目
指しました。葉山ならで
は、景観や住環境の保
全、地域社会の再生は、
もう一つの大きな課題で
果たせるよう、努めてい
きたいと思います。

副議長あいさつ

この度、副議長を務め
させていただきますこと
になりました。
地方分権の進展、少子
高齢社会の到来、そして
違いをのり越え、議会と
行政が力を合わせて取り
組むことを再確認し合
い、職責を全うしてい
きます。葉山町議会では
い申し上げます。

市民の皆さまとともに進
めていく所存でございます。
どうぞよろしくお願
い申し上げます。

新しい委員会のご紹介

総務建設常任委員会、教育民生常任委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会、ごみ問題特別委員会、そして新しく生活排水処理に関する特別委員会が設置されました。

総務建設常任委員会

- 佐野司郎 金崎ひさ
- 伊東圭介 伊藤友子(委員長)
- 近藤昇一 山梨崇仁(副委員長)
- 笠原俊一 畑中由喜子



教育民生常任委員会

- 守屋亘弘 森 勝美
- 鈴木知一 阿部勝雄(委員長)
- 加藤 清 土佐洋子(副委員長)
- 待寺真司 中村常光



委員会名	所管事項
総務建設常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> □ 総務部の所管に関する事項で、総合計画の策定や、国際交流、情報公開、財政計画、地方税、町有財産など。 □ 都市経済部の所管に関する事項で、都市計画の策定や、公園、産業振興、観光、道路河川など。 □ 他の常任委員会の所管に属しない事項で、会計や、選挙、監査、消防など。
教育民生常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> □ 保健福祉部の所管に関する事項で、社会福祉の企画や、保健衛生、国民健康保険、介護保険、消費者保護など。 □ 生活環境部の所管に関する事項で、環境保全や、下水道、清掃事業など。 □ 教育委員会の所管に関する事項で、学校教育や、社会教育、生涯学習など。
議会運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> □ 円滑な議会の運営を期すため、議長の諮問機関ないし補佐機関として設置される委員会。本町議会では平成3年に設置を条例で定めた。議会の運営や、会議規則、委員会に関する条例等、議長の諮問に関する事項について調査を行うと共に、議案、請願等の審査をする。
議会広報特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> □ 議会広報紙「議会だより」の発行や、議会ホームページの編集等を行うために設置し、委員は8人で構成する。
ごみ問題特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> □ 森英二町長の「横須賀三浦ブロックごみ処理広域化協議会」からの離脱の方針に伴い、本町におけるごみ問題に関する審査・調査をする。
議員定数及び報酬等検討特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> □ 本町議会における議員定数及び報酬等に関する審査・調査をする。
生活排水処理に関する特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> □ 本町における公共下水道事業計画認可区域外の生活排水処理に関する調査・研究をする。
議会選出の監査委員	<ul style="list-style-type: none"> □ 地方自治法第195条で、町村は2人の監査委員を置くとしている。第196条で町長が議会の同意を得て、議員のうちから1人を選出する。

葉山町議会LIVE中継 時間帯別視聴者数推移表 (6月17日～29日)

日付 時刻	6月					合計
	17日	18日	19日	22日	29日	
9時	11	11	9	12	0	43
10時	34	24	24	52	0	134
11時	33	44	23	43	0	143
12時	12	17	5	11	0	45
13時	47	64	30	25	8	174
14時	36	32	6	49	74	197
15時	12	31	0	6	28	77
16時	0	21	0	0	0	21
17時	0	0	0	0	2	2
合計	185	244	97	198	112	836

葉山町議会インターネット・ホームページ



山梨崇仁 金崎ひさ
畑中由喜子 近藤昇一(委員長)
伊東圭介 佐野司郎(副委員長)
笠原俊一 伊藤友子

議会運営委員会



阿部勝雄 森 勝美
加藤 清 守屋亘弘(委員長)
待寺真司 鈴木知一(副委員長)
土佐洋子 中村常光

議会広報特別委員会

生活排水処理に関する特別委員会

待寺真司(委員長)
土佐洋子(副委員長)
阿部勝雄
佐野司郎
守屋亘弘
伊藤友子
笠原俊一
中村常光

金崎ひさ(委員長)
加藤 清(副委員長)
畑中由喜子
近藤昇一
山梨崇仁
伊東圭介
鈴木知一
森 勝美

ごみ問題特別委員会

議員定数及び報酬等検討特別委員会

佐野司郎(委員長)
畑中由喜子(副委員長)
近藤昇一
阿部勝雄
土佐洋子
山梨崇仁
伊東圭介
鈴木知一
守屋亘弘
森 勝美
伊藤友子
待寺真司
金崎ひさ
笠原俊一
加藤 清
中村常光



伊 東 圭 介

議会選出の監査委員

「こんなこと」が決まりました

◎葉山町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

平成21年5月1日の人事院勧告に基づき一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律が施行されること及び他団体の改正の動向を勘案し、本年6月に支給する一般職の職員の期末勤勉手当並びに特別職の職員及び教育長の期末手当について改正を行う必要があり提案するものです。全会一致で可決しました。

◎葉山町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

本年5月1日に提出された人事院臨時勧告に伴い、厳しい経済状況や町財政状況に鑑み、6月期に支給される期末手当について特別措置として0・2月分を凍結させる必要があり提案するものです。全会一致で可決しました。

◎安全で快適な葉山海水浴場の確保に関する条例

海の家の騒音、ごみ問題等、特に海水浴場開設期間中に発生する諸問題に対応するため、海岸利用に係わる事業者、利用者及び町の責務を明らかにし、安全で快適な海岸と近隣住民の平穏な生活を確

保するため、新たに条例を制定するため、提案するものです。全会一致で否決しました。

◎葉山町真名瀬駐車場条例

自動車を利用する町民や町を訪れる観光客等の利便を図り、地域経済の振興と違法駐車や事故防止等円滑な道路交通に資するため設置する葉山町真名瀬駐車場について、葉山町観光協会にその管理を委託する現行の運営方式を見直し、地方自治法第24条の規定する公の施設としての位置付けを明確にするため、同条第2項の規定により制定するものです。全会一致で可決しました。

◎葉山町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

平成20年8月の人事院勧告及び平成21年4月1日からの国家公務員の勤務時間の改定を受けて、町職員の勤務時間についても、本年7月1日から同様に改めるものです。また休息時間を廃止するものです。全会一致で可決しました。

◎葉山町議会基本条例

真の地方分権時代に対応するため、合議制の機関である議会が担うべき役割及び議会に関する基本的事項を定め、議会の活性化を図

り、町民の負託にこたえられる議会の実現を図ることを目的とし、提案するものです。全会一致で可決しました。

◎北朝鮮の核実験実施に抗議する決議

平成21年5月25日、国連決議や6カ国協議共同声明、日朝平壤宣言に反して、2回目の核実験を強行した。議会は北朝鮮政府に対し、核実験の強行に強く抗議するとともに、今後いかなる核実験も行わないこと、核兵器及び核兵器開発計画を放棄することを強く求めるものです。全会一致で決定しました。

◎逗子市内の病院誘致への財政負担を認めない決議

逗子市が、病院誘致を進めるにあたり、市長から、葉山町に対し財政負担を伴う可能性のある話を持ちかけられた。市側からの申出は、長年にわたり葉山町に関係なく進められてきた病院誘致問題で、市側の財政事情から浮上した問題であり、その解決のために町民に負担を求めるとになり、この申出は到底理解できない。病院誘致は、地域医療を担ってきた地元医師会の理解が前提であり、さらに深刻な経済危機、町の厳しい財政状況からも、財政負担を負うことに賛成できない旨の決議です。賛成多数で決定しました。

みなさんからの 請願・陳情・要望のゆくえ

◎教育予算の拡充を求める意見書の採択を求める請願	採	採
◎非常勤特別職の報酬の改定を求める陳情	不	採
◎旧大蔵省印刷局（現財務省）葉山保養所森戸荘を地域住民のために有効活用を求める陳情書	採	採
◎「肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書」の採択を求める陳情	採	採
◎国と神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	採	採
◎森 勝美委員の発言に対する要望書	機	上配布
◎葉山海水浴場の運用ルールに関する要望書	機	上配布

◆◆◆なお継続して審査します◆◆◆

- ◎葉山町議会議員の定数削減を求める請願
- ◎ごみ処理広域化を葉山町として直ちに実施することを求める請願書
- ◎ゼロ・ウェイスト宣言を行わないことに関する陳情書
- ◎陳情書（ゴミ問題・ゼロ・ウェイスト計画採用の危険性のこと）
- ◎ごみの発生抑制、減量化、資源化を進める施策として「葉山町ゼロ・ウェイスト計画」の実施とその実施宣言を求める陳情
- ◎2市1町ごみ処理広域化と自区内処理の事業計画との比較を早急に町民に説明することを求める陳情書
- ◎葉山町ごみ処理の現状及び20年度以降のごみ処理事業計画について早急に町民に説明することを求める陳情書
- ◎ゴミ処理に関する陳情
- ◎21年1月に予定されているゼロ・ウェイスト宣言を行わず具体的なごみ減量策を町民にしっかり説明することを求める陳情書
- ◎「葉山町附属機関の設置に関する条例」改定と附属機関以外の委員会設置に関する条例化を求める陳情
- ◎物価上昇に見合う年金引上げの陳情
- ◎葉山町ゼロ・ウェイスト計画を町民に広く知らせることを求める陳情
- ◎神奈川県最低賃金改定等についての陳情

表 決 結 果

〔第1回臨時会〕

議案・請願・陳情	議員名（議席順）														結 果				
	畑中由喜子	近藤昇一	阿部勝雄	土佐洋子	山梨崇仁	伊東圭介	鈴木知一	佐野司郎	守屋巨弘	森勝美	伊藤友子	待寺真司	金崎ひさ	笠原俊一		加藤清	中村常光	鈴木道子	
議案 平成21年度葉山町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 専決処分承認について（葉山町税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案 葉山町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 財産の取得について（消防ポンプ自動車）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 葉山町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 監査委員の選任について	○	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
陳情 非常勤特別職の報酬の改定を求める陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
陳情 旧大蔵省印刷局（現財務省）葉山保養所森戸荘を地域住民のために有効活用を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択

○は賛成 ×は反対 議長に表決権はありませんが、可否同数の時のみ議長が決します。
「除斥」とは審議の公正を期するために、利害関係を有する議員は当該事件の審議に参加することができないとする制度です。

〔第2回定例会〕

議案・請願・陳情	議員名（議席順）														結 果				
	畑中由喜子	近藤昇一	阿部勝雄	土佐洋子	山梨崇仁	伊東圭介	鈴木知一	佐野司郎	守屋巨弘	森勝美	伊藤友子	待寺真司	金崎ひさ	笠原俊一		加藤清	中村常光	鈴木道子	
議案 平成21年度葉山町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 安全で快適な葉山海水浴場の確保に関する条例	×	×	×	×	×	×	×	×	×	退場	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
議案 葉山町真名瀬駐車場条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 葉山町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 工事請負契約の締結について【長柄小学校校舎耐震補強工事】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 工事請負契約の締結について【葉山処理区木古庭長柄幹線築造工事】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案 人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案 葉山町議会基本条例	○	○	○	退場	退場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	退場	退場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 葉山町議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	退場	退場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願 教育予算の拡充を求める意見書の採択を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
陳情 「肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書」の採択を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
陳情 国と神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択

○は賛成 ×は反対 議長に表決権はありませんが、可否同数の時のみ議長が決します。「退場」とは、表決を棄権のため議場を退場した者を指します。

補正予算

歳入歳出 予算の総額

会計名	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
一般会計	8,786,844,000円	16,804,000円	8,803,648,000円
特別会計	国民健康保険	-	3,414,271,000円
	後期高齢者医療	-	682,169,000円
	老人保健医療	-	8,242,000円
	介護保険	-	2,213,508,000円
	下水道事業	-	1,605,313,000円
	小 計	-	7,923,503,000円
	合 計	16,710,347,000円	16,804,000円

一般会計の「補正前の予算額」とは、当初予算額に第1回臨時会で承認の補正予算額252万円を加えたものです。

意見書を提出しました

- ◎地方自治法第99条の規定により、各意見書は提出先へ送付いたします。
◎紙面の都合上、内容は要約させていただいております。

教育予算の拡充を求める意見書

子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤作りにとって極めて重要なことであるが、昨今の経済情勢を受けて教育においても貧困と格差が大きな社会問題となつてきている。学費の未納など経済的な理由により中途退学を余儀なくされる生徒が増えている状況もあり、家庭の経済的基盤の弱い子どもに対する諸外国並みの給付拡充などの施策を実施するために、公的支出の拡充を図り、公教育の基盤強化を図るべく国の施策が必要不可欠である。

しかし、義務教育費の国庫負担金の割合が3分の1に引き下げられたままで、厳しい財政状況を強いられる地方自治体では、十分な教育予算の確保がますます困難をきたしている。国・地方ともに様々な課題に直面する中、少人数教育の推進、学校施設の整備促進、就学援助の拡充、奨学金制度の見直しなど、教育条件の整備と自治体間格差の是正が急務である。

よって、政府は次の事項を実現されるよう強く要望する。
1 義務教育費の国庫負担金の割合を2分の1に復元し、義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
2 義務制第8次・高校第7次の教職員定数改善計画を早期実施すること。
3 就学援助制度の拡充を図るための予算措置を行い、併せて奨学金制度を貸与ではなく給付方式に改善すること。

4 学校施設整備費・教材費・図書費・旅費・安全対策費など教育予算の充実に努めること。

5 文部科学省が実施した「勤務実態調査結果」を施策に反映し、実効ある超過勤務縮減対策を行い、併せて教職員給与の財源確保・充実に努めるなど、地方交付税を含め国の予算をより一層拡充することを強く要望する。
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年6月29日 葉山町議会

提出先 衆議院議長・参議院議長

内閣総理大臣・総務大臣

財務大臣・文部科学大臣

肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書

我が国のB型、C型ウイルス肝炎患者・感染者数は350万人以上と推定され、国内最大の感染症として抜本的対策が求められている。多くの患者は、輸血、血液製剤の投与、予防接種などの医療行為によって、肝炎ウイルスに感染した。その中には、医療・薬務・血液行政の誤りにより感染した患者も含まれており、まさに「医原病」といえる。

B型、C型肝炎は、慢性肝炎から肝硬変、肝ガンに移行する危険性の高い深刻な病気である。肝硬変・肝ガンの年間死亡者数は4万人を超え、その9割以上がB型、C型肝炎ウイルスに起因している。また、既に肝硬変・肝ガンに進展した患者は長期の療養に苦しみ、生活基盤を失うなど経済的にも多くの困難に直面している。

平成20年度から、国の「新しい肝炎総合対策」（7カ年計画）がスタートしたが、法律の裏付けがない予算措置であるため、実施主体である都道府県によって施策に格差が生じている。適切なウイルス肝炎対策を、全国的規模で推進するためには、肝炎対策に係る「基本理念」や、国や地方公共団体の責務を定めた「基本法・根拠法」の制定が必要である。
よって、国においては、ウイルス肝炎患者を救済するため、下記事項について緊急に施策を講ずるよう強く要望する。

ウイルス肝炎対策を全国的規模で等しく推進するため、肝炎対策に係る基本法を早期に成立させること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年6月29日 葉山町議会

提出先 衆議院議長・参議院議長

内閣総理大臣・厚生労働大臣

私学助成制度の拡充を求める意見書

神奈川県における園児、児童、生徒一人当たりの私学助成額は全国でも低い水準である。特に、私立高校の学費は公立高校と比べると7倍にも及び、著しく高い状況である。そのため、保護者の経済的負担が増大し、私学への入学を断念したり、退学せざるを得ない状況も生み出している。

すべての子どもたちにゆきとどいた教育をすすめる、心の通う学校をつくるためには、少人数学級をめざし、教職員の増員と教育費の増額が必要である。

経済的な理由によって私学への進学をあきらめる子どもが出ないように、私学への助成制度を更に拡充することが望まれる。

よって、政府・神奈川県は次の事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

私学助成制度全般の拡充強化に努められること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
平成21年6月29日 葉山町議会

提出先 衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

総務大臣

財務大臣

文部科学大臣



葉山まちづくり協会

質問

いっばん

質問者の提出原稿を基に編集しています

土佐洋子

来年は7月1日からの海開きを検討できないか
町長 この夏の分析調査が必要



町長 検討委員会に提案したい。
給付金支給の対応については。

問 公的な団体ではないが、防災ネットワーク等への手話通訳者派遣について、町として費用負担できないか。

町長 該当するDV被害者に対して、町単独事業として給付及び支給する。どのような方が対象になるのか。

保健福祉部長 今、手話通訳にかかわる事業費の中から、そういう団体に経費を出す考えはない。

生活環境部長 2月1日現在、住民登録のあるDV被害者を対象。

問 D V被害者への定額0坪の利活用は。

町長 豊富に湧いている水、林、竹等も含めてどう活用できるか、しっかりと研究を進めていきたい。

問 毎週日曜日に行われている、ハヤママーケットを評価しているか。

町長 住人にとって大きな魅力であり、しっかりと充実させていく必要があると認識している。

問 ハヤママーケットを、例えば主馬寮跡地等の広い場所に移動して、開催

することはできないか。
町長 非常に大切な提案と受けとめる。関係者等とよく協議をする必要がある。



森戸海岸 監視台

伊藤友子

町と「まちづくり協会」は、将来に役立って引き継ぎを
町長 「引継書」の方向で行いたい



を継続中である。前身は「くれたけの郷葉山」構

町長 現在、所属している団体が31あるが、皆さん

の活動から生まれた資産は、非常に評価している。

蓄積されたデータや資料は、町の将来につながるために散逸を防ぐよ

う、十分支援をしたい。

町長 今担当と協議している。町民には、サロンの

必要な場所が必要との観点から図書館の施設、学校、

教育委員会の建物等を、職員で検討中。協会との

引き継ぎは「文書」の方向で行いたい。

問 地産地消の進捗状況

と今後について伺う。

町長 休耕地や休耕田の調査をアンケートで行い、利用可能な農地を選び、農業委員会、農協や

県の協力を得ながら進めたい。葉山産のキャベツ64個を4月に学校給食で使った。

問 上山口が「日本の里100選」に選ばれたことも含め、地産地消もPRが必要。葉山地産地消シン

ポジウム開催を望む。

問 葉山まちづくり協会は、3月議会で単年度限定の修正予算が賛成多数で可決され、現在は活動

管と管理を町はどのよう

う、十分支援をしたい。

伊東圭介

地域活性化経済危機対策臨時交付金の対応は
町長 事業内容を精査し9月以降に対応する



総務部長 経済危機対策

臨時交付金については、

決定金額ではないが、内

示では、8200万円強

になる予定である。

問 今後の対応は。

答 今後の対応は、

総務部長 9月議会以降

に補正予算をお願いす

る。予算付けについては、

各課の要望を財政課で調

整する。現時点では、消

防関係と教育関係の要望

がある。

司 真 寺 待

新型インフルエンザへの対応は充分であったか
町長 緊密に連携を取り対策会議を開いて対応できた



総合病院概要図

問 国の21年度補正予算

に盛り込まれた臨時交付

金の活用について何う。

町長 交付金の趣旨を踏

まえ小・中学校の耐震整

備事業などを補正予算と

して上程させて頂いた。

問 葉山町の交付金額は。

答 葉山町の交付金額は、

がある。

問 契約に関する入札差

金について何う。

町長 今年度、現在まで

に財政課で執行した工事

契約10件の入札差金は、約

1億3710万円になる。

問 入札差金の活用は。

答 入札差金の活用は、

新設の総合病院が近

接地にできるのは、安全

への対応の経過と、今後

の取り組みは。

町長 5月21日に対策本

部を設置し、マニュアル

に基づいて行動すること

の確認を取った。6月1

日には逗子市と協同で発

熱外来を設置した。今後

問 新型インフルエンザ

への対応の経過と、今後

の取り組みは。

町長 5月21日に対策本

部を設置し、マニュアル

に基づいて行動すること

の確認を取った。6月1

日には逗子市と協同で発

熱外来を設置した。今後

問 緊密に連携を取り対策

会議を開いて対応できた

町長



も相談窓口、発熱外来を

継続し、住民への迅速な

情報提供に努めていく。

問 対策マニュアルはホ

ームページで公表すべき。

町長 こういう情報は詳

細かつ迅速に行う事が大

事だと思っている。

問 発熱外来を何故保健

センターなど町の施設に

設置できなかったのか。

保健福祉部長 当初は保

健センターに設置予定だ

ったが、逗葉医師会の先

問 山町としての考えを聞か

れた。1次救急について

は、逗葉医師会の理解が

を考えている。その他は、

前提である。また、2次

救急については、逗子市

から話ががあれば協議する。

問 病院誘致への財政負

担については、慎重に考

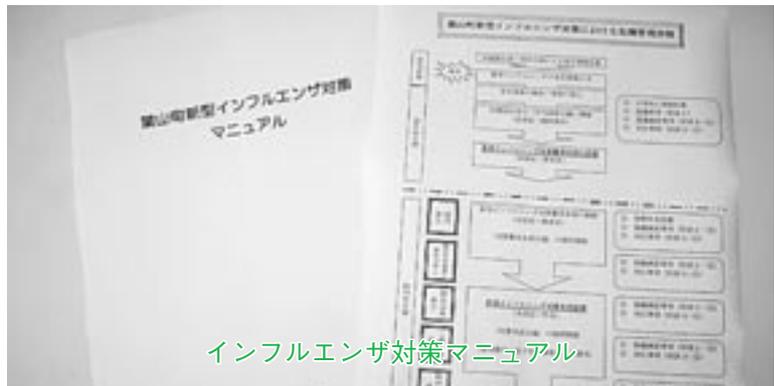
えるべきだ。

町長 財政面や町の将来

を考え、検討する。

問 消防本部で担当し

を述べていきいたいと思う。



インフルエンザ対策マニュアル



川久保バス停下り

近藤昇一

交通体系計画策定に向けた検討状況は
町長 認可された事業を参考に検討する



問 改正道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の施行に伴う、交通体系計画策定に向けた検討状況について伺う。

町長 市町村において、で、長柄地域で06年、09

地域公共交通の活性化・再生を総合的かつ一体的に推進するための計画を作成することができると理解している。国交省で認可されている事業を参考に検討する。

町長 現状では町民が利用しにくい。京急バスは

町長 現状では町民が利用しにくい。京急バスは

森 勝美

定額給付金の地域活性化に商工会との連携は
都市経済部長 秋に向けて何かを打っていく



問 定額給付金の支給状況は。

町長 子育て応援特別手当とも90%給付が終了。

問 給付金の地域活性化に商工会とはどう連携しているか。

都市経済部長 秋に向けて何かを打っていく。

増便や他の路線の変更は、増便や他の路線の変更は、議していく。

問 競争入札資格のない未登録業者に、自治体が発注する小規模な建設工事や修繕の受注機会を確保・拡大すること、それを通じて地域経済の活性化につながるようとする。

町長 合理的運用が可能か引き続き検討している。

町長 現状では町民が利用しにくい。京急バスは

問 DV被害者の実態と対応は。

生活環境部長 2件位。

問 町単独事業として調整。災害時の要援護者の避難誘導のための組織づくりが必要では。

保健福祉部長 75歳以上の1人暮らしが400人いる。

問 携帯電話の弊害がこれまで何件あったか。

教育長 平成19年に1件あったがクラス担任の指導で改善された。中学校では携帯教室でルールと

保健福祉部長 要支援者



落書きされた公園のけやき

問 マナーを学んでいる。

問 小学校の英語教育では何を重点として学習させているか。

教育長 英語力をあげることでなく、異文化に親しむ授業をしている。

問 小・中学生に社会の一員としての自覚をさせる教育が必要と思うが。

教育長 人づくりはまちづくりの精神で道徳・特別活動で取りくんでいる。

山梨崇仁

放課後児童に係る研究会の課題は
保健福祉部長 場所と経費が問題



問 ゲリラ豪雨や地震などによる土砂災害から町民を守るため、土砂災害防止法に基づく基礎調査とその広報が必要では。また、防災体制強化への取り組みも必須だ。

都市経済部長 危険箇所の実態把握に今年度から

保健福祉部長 各部署から8人のメンバーが集ま



安全で安心な子どもの居場所を

2年かけて現地調査、区域説明会が実施される。消防長 区域調査後、避難経路の確保などに関して整備をし、23年度までに洪水・土砂災害ともに

問 その後、葉山町独自の防災冊子をまとめたい。

問 放課後子ども事業について、職員研究会の立ち上げと今後の方向性は。

り、5月末に研究会を立ち上げた。場所と経費の問題に絞って検討する。今回は7月になる。

問 組織横断で研究するには目的意識の共有が重要。メンバーが知恵と工夫を出し合えるよう、調整が必要では。

町長 時期を見て私も入り、意見を出したい。

問 文部科学省から放課後子ども教室の立ち上げ事例のDVD配布や放課後子どもプラン推進アドバイザーの設置・派遣などを提案してきているが。

教育部長 時間をいただいて、町長部局のほうと話をしていきたい。

問 子どもの居場所、まちづくり協会の引継ぎ場所として図書館を検討してはどうか。

町長 参考にしなが

守屋亘弘

特別職給料の日割計算制導入について
町長 今後検討が必要



問 (退職の場合、当該月の給料は) 教育長を含め一般職の職員の給料は日割計算となっているが、特別職と議員のそれは月のうち1日でも在籍すれば給料あるいは報酬を得られる。特別職給料日割計算制の導入について。

町長 現在、町長等特別

職の職員の給料は葉山町特別職の給与等に関する条例第4条の規定により、新たに職員となった場合にはその日から、退職した場合には当該月分の給料を支給することとなっている。一方一般職職員の場合、葉山町一般職の職員の給与に関する条例第5条第3項の規定により、退職の場合はその日までの日割で支給することとなっているので、特別職職員が退職する場合

問 退職の場合、当該月の給料は) 教育長を含め一般職の職員の給料は日割計算となっているが、特別職と議員のそれは月のうち1日でも在籍すれば給料あるいは報酬を得られる。特別職給料日割計算制の導入について。

町長 現在、町長等特別

万円、地域手当7万5400円、扶養手当1万4100円。合計82万9510円を支払った。

問 非常勤特別職の報酬見直しの検討結果は。

町長 前回本会議で本件について検討する旨答弁したが、まだ検討中だ。



あじさい公園

佐野司郎

海水浴場への考えは 町長 存続させるといのが前提



問 各産業の育成策は。

町長 農業については地

産地消事業の推進、漁業
では港内の安全性の確保
と漁場の育成、商業は朝

市などを支援しての活性
化、工業は住宅リフォー

ム資金助成事業による活
性化を行ってゆく。

問 人口動態については。

町長 近隣市では減少も

見られるが葉山町では比
較的若い世代が増えてい

る。活力を維持するため
に、子育て環境の充実が

必要。

問 観光における海の位

置づけについて。

町長 葉山と海というイ



川久保バス停上り

問 病院誘致問題で逗子
市長が来町したが、逗子
市との対応は。

町長 一次救急と二次救

急の統合について話され
た。町は逗葉医師会の理

解が前提だが、住民の利
便性、財政面の効果はあ

る。二次救急は逗子から



阿部勝雄

逗子の病院誘致問題には慎重な対応を 町長 統合には利便性もあるが、二次は話をお聞きしてゆく

スポットのある町」とし
て発展していくとある
が、あじさい公園等が荒
れているが。

問 保育園の待機児童を
減らすには。

町長 職員の手当てや活

管理はしているが、美し
い花を見てもらうよう、

もう一度管理を見直す。

問 地産地消に具体策が

欲しいが。

町長 援農などつくる方

の組織化と消費者団体と
行と交渉はしたい。

話があればお聞きする。

問 常任委員会での「協

議」と「お聞きする」で
は意味が違うのでは。

町長 「協議」も「話を

聞く」も大きな違いがあ
るとは理解していない。

問 逗子市が何度か来た

というが、話の内容は。

保健福祉部長 初めが20

年の10月、進捗状況の他
「救急委託料は1次救急

と同様な扱いで」と話さ
れた。都合5回来町した。

のパイプづくりをきちん
とする。

問 保育園の待機児童を

減らすには。

町長 職員の手当てや活

用されていない町有地の

利用が考えられる。

問 川久保バス停のダイ

ヤが役に立たないが。

町長 南郷中へのバス路

線の工夫も含めて京浜急
行と交渉はしたい。

5月27日に市長が来た。

問 20年の10月の「一次

同様に」とは、「一次同
様32%の金銭負担を含む

と解釈されないか。

町長 逗子市の担当者の
説明を受けたが、二次も

一次同様の了解を与えた

との報告は受けていない。

問 町民会議の提言で、

政策化すべきものは。

町長 自治基本条例、景
観計画など。

問 ゼロ・ウェイスト推

進委員会に、町民会議の
意見をどう生かされたか。
町長 専門家、有識者の
他、町民会議の方も入れ
た推進会議となっている。
問 合併浄化槽の調整区
域への説明会計画は。
町長 7月に木古庭・上
山口地区で「公共下水道
の全体計画」について説
明会を開催する。
その他 教科書採択につ



総合病院に関する逗子市の広報



畑中由喜子

放課後の子どもの居場所として学校施設活用の工夫を
町長 何とんでも前に進めたい



問 国は放課後も児童が学校で過ごす環境を整備する放課後子どもプランを策定した。当町では児童館で学童保育をしているが、すでに満員で、子どもの居場所として学校

答 施設以外ないのでは。子供たちの生活をとにかく第一義に考えて頂きたい。
消防長 答申に基づいて三浦半島4市1町の消防本部でメリット・デメリットが気掛かりだが。

問 消防の広域化で町に
答 4月から横浜市へ尿等の処理を委託し、し尿処理施設を停止したことで平成18年度比で約40%の温室効果ガスの削減、既存の遊歩道やハイ

キングルートを活用して13市町をつなぐもので、真名瀬遊歩道とは関係ない。



青少年会館の学童保育七夕飾りを作りました

問 結果は全部ノーで使えないということか。工夫して、一步を踏み出さない限り、前に進まない。
町長 この問題は何とんでも前に進めたい。

問 減量化のみでは解決しない。職員でできることは、不燃ごみも委託から職員の手による分別箱設置収集に切り替えては。
生活環境部長 23年4月から収集の変更をする。

問 地球温暖化対策実行計画の進み具合は。また、ESCO事業とは何か。
町長 減に向け調査研究を行うことや、電動アシスト自転車を導入し、公用車削減に向けて調査研究を行うなど、取り組んでいく。

問 新聞報道の多摩・三浦丘陵の遊歩道とは何か。
町長 緑や水に親しめる、既存の遊歩道やハイキングルートを活用して13市町をつなぐもので、真名瀬遊歩道とは関係ない。



金崎ひさ

ミックスペーパー収集は職員で
生活環境部長 今は委託で行う

でという取り組みだが、まず町関連の施設からの生ごみをゼロにすべきだ。
町長 それは大事なことを考えて研究をしている。

問 一般廃棄物処理基本計画の見直し時期は22年度と聞いているが、その際財政計画を盛り込み町民に対する説明会・パブコメ等行うべきだ。
生活環境部長 実施する。

問 葉山はばたきの雨漏り等の施設修理の対応は。
保健福祉部長 町が行う。

収集は職員の手で



問 障害者グループホームは民間の借家を利用しているが、障害者福祉施設利用者助成事業の将来展望を考慮すると、町有地を提供し、運営母体に建設してもらおうなどの工夫が必要と思うが。
町長 検討は必要だ。

問 葉山町障害者福祉計画にも23年度までに25人を見込んでおり、親亡き後の不安を無くすような施策に転換して欲しい。
保健福祉部長 設備費、運営費等の補助も考える。
問 観光シーズンに合わせた公園整備が必要だ。
町長 知恵を絞り適切な時期に行うよう指示する。
問 合併浄化槽設置整備補助事業について、保守点検および法定点検等を義務づけるべきだ。
町長 検討したい。

委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

で不合理、町民感情を損なうとして、日額報酬を求めているものです。

審査では、継続審査の意見があったが、「金額が多寡でなく、月額制を日額制へ改定を求めている。報酬はその職務の性格で定めている。職務はその日だけで終了するものばかりでなく、継続しており、全て日額制はなじまない」「他と比較するべきものでなく、非常勤特別職の報酬を含めて見直す必要があるれば町長が検討すべきで、議会が踏み込むべきでない」との意見が大勢を占め、全会一致で不採択とすべきものと決しました。

「旧大蔵省印刷局(現財務省)葉山保養所森戸荘を地域住民のために有効活用を求める陳情書」この森戸荘は、10年以上も放置状態で近隣の生活環境に悪影響を与えている。この地域は、住民交流の場、子どもの遊び

場もなく、災害時の避難場所も保障されていない。近隣住民が有効利用出来るよう関係機関に要請することを求めています。審査では「環境・防災上必要な場所、願意を実現させたい」「住宅密集地で有効な空間地がなく、採択すべき」等の意見が出され、全会一致で採択すべきものと決しました。

「安全で快適な葉山海水浴場の確保に関する条例」

条例は、海水浴場の運営に関し、各海水浴場組合で定めるルールを事業者や利用者は遵守し、違反者に必要な指導、勧告が出来ることを求めたものです。

審査では、条例案が完全に拙速な提案であることが明らかとなった。「海岸」と「海水浴場」の規定があいまいで、事業者やルールの定義も不明確でした。

教育民生

「教育予算の拡充を求める意見書の採択を求める請願」

「国と神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情書」

2件は同趣旨なので、一括審査を行った。

請願の趣旨は、日本の教育予算は先進国中最低レベルで、貧困と格差が広がる中、経済的理由で高校を中退する人が増えている状況にある。地方交付税の削減や税収の減少等で、地方自治体は十分な教育予算を確保できず、自治体間に格差が広がっている。

「肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書の採択を求める陳情書」

国内のB型・C型ウイルス肝炎患者・感染者数は推定350万人以上で、抜本的対策が求められている。輸血、血液製剤の投与や針・筒連続使用等の医療行為による感染者が多く「医原病」と言える。患者は長期療養に苦しんでいる。

陳情については、神奈川県は私学助成額が低く、私学の学費は全国2番目に高い。経済的理由で退学を余儀なくされる状況も出ている。私学助成の充実を図るよう国と県に対し意見提出を求めているものです。審査の中では、教育の機会均等や公教育の一翼を担う私学の健全発展を考慮すれば、賛同できると、全会一致で採択し、国・県に意見書を提出すべきものと決しました。

総務建設

「非常勤特別職の報酬の改定を求める陳情」

大津地裁は県の非常勤特別職報酬を、勤務日数に関係ない月額報酬は違法と支出差止めを命じた。

当町も、教育委員会、監査委員、選挙管理委員、農業委員は高額月額報酬

質疑で、担当者の明確な説明が得られず、条例の撤回も求めましたが、撤回されず、条例の本質にかかわる問題で認められないとの意見が大勢を占め、全会一致で否決すべきものと決しました。

「葉山町真名瀬駐車場条例」

条例は、町の観光協会に管理委託している方式を改め、自治法に規定する公の施設の位置付けを明確にするため、制定するものです。

審査の中では、「料金に係ることで、夏期の定義は、規則ではなく条例で定めるべき」「夏期を7月～8月等と分り易くすべき」などの意見も出されたが、条例による駐車場の設置や機械化など改善もあり、賛成する意見が多く、全会一致で可決すべきものと決しました。

委員長 伊藤 友子

規定があいまいで、事業者やルールの定義も不明確でした。

国の「新しい肝炎総合対策」は、法的裏付けのない予算措置で、自治体間に格差が生じている。国・県へ、肝炎対策の「基本法・根拠法」制定を求める意見書の提出を求めているものです。

審査では、患者には、長期療養で不安を抱えた生活を余儀なくされる者もあり、法的裏付けのない予算措置では不十分で、早期に「基本法」を制定すべきとの意見があり、全会一致で採択し、意見書を提出すべきものと決しました。

委員長 阿部勝雄

件の上程を確認しました。6月26日「議会基本条例」の施行期日について協議を行い、10月1日とすること、それまでに「町民との意見交換等」の実施要綱をまとめることが合意されました。

委員長 近藤昇一

ごみ問題特別

また、議会基本条例第8条で「委員会を原則として公開する」ことに伴い、これまで委員長の許可制であった委員会の傍聴を本会議と同様にするため、議会委員会条例を改正しました。また、議会会議規則の条文整理の改正も合意されました。

さらに、「生活排水処理に関する特別委員会」(定数8人)設置と、ごみ問題特別委員会の定数を16人から8人に変更することが合意されました。

議員提案の「逗子市内の病院誘致への財政負担を認めない決議(案)」が追加議案となることを確認しました。

6月29日 町民から提出された「森勝美委員の発言に対する要望書」「葉山海水浴場の運用ルールに関する要望書」の2件を机上配布することを確認しました。

委員長 近藤昇一

審査では、「提訴されておられる方から、和解を求めることは、金を払うということか」「今から2市1町の広域化に帰れるのか」等の意見が出され、紹介議員から「広域処理は、2市1町とは限らない」等の説明があったが、「文面からは、他の自治体とは読み取れない」等の意見が出されました。

更に、検討する必要性があり継続審査となりました。継続中の陳情7件。新たな「ゼロ・ウェイストのPRを求める陳情」も含めて継続審査となった。

前委員長 阿部勝雄

議会運営

6月12日 定例会日程の協議を行いました。

6月18日 第2回定例会に追加議案として議員提案で「北朝鮮の核実験に抗議する決議(案)」と「葉山町ゼロ・ウェイスト計画を町民に知らせることを求める陳情」2

6月29日 町民から提出された「森勝美委員の発言に対する要望書」「葉山海水浴場の運用ルールに関する要望書」の2件を机上配布することを確認しました。

委員長 近藤昇一

「ごみ処理広域化を葉山町として直ちに実施することを求める請願」

請願の趣旨は、小規模自治体の葉山町にとり、財政・環境・技術の面から最前のごみ処理広域化を、直ちに実施することを求めているものです。

請願には2807名の署名を添えられています。

内容は、ゼロ・ウェイストはごみの減量化計画で、現在の非効率・高コスト・不安定のごみ処理を解決できない。財政・環境・技術面から広域化が最善である。横須賀・三浦両市と和解除し、協議を進めることが望ましい、という内容です。

議員定数及び報酬等検討特別

議会運営委員会で、議員の定数等の議論を行う特別委員会が、平成21年3月25日に、議長をオブザーバーとし、他の議員16人で構成する特別委員会を設置し、金崎ひさ委員長、佐野司郎副委員長

を選任しました。また、議会運営委員会を5月18日、長・中・短期の課題を検討し、まず、社会状況を鑑み、議員の6月期の期末手当減額を短期目標と定め、5月22日の臨時議会に上程する必要がある、急ぎ検討し、野司郎副委員長を新委員長に、畑中由喜子委員を副委員長に互選しました。

前委員長 金崎ひさ

◀真名瀬駐車場



旧大蔵省印刷局(現財務省)▶
葉山保養所森戸荘

